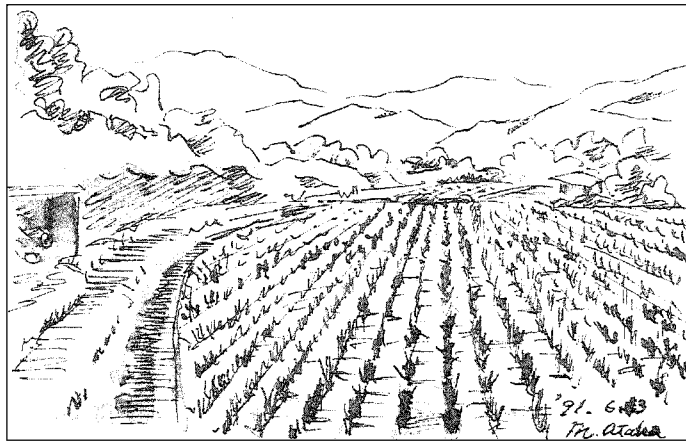


# 都留雑感

都留文科大学教授 安宅正路



つい最近まで、アカツメクサ、クローバー、はるじおん…と、様々な草花が、生い茂っていたが、いつの間にか、耕され水がいつぱいに張られてみると、当りまえの事だが、これだけ多くの田んぼが、これだけ傾斜のある土地に平らに作られている事を、改めて感心しながら歩くこの道は、都留文科大学音楽研究棟の裏を、十日市場の駅の方へ抜ける農道である。

通るたびに育っていく稲を見ると、今がこの道は一番自然と人工的な美しさが調和しているときなのだ…と感じながら、大学に赴任して十四年、週に一度は通る道であり、梅雨時はぬかるみ、たまにはへビも横切るが、ずっと残しておきたい道である。

先月号にも、森江先生が都留の自然についてふれられていたが、車社会になり、生活もスピードアップされ、この都留でもほとんど舗装され、街を流れる細い水路も、コンクリートでふたをされた所も随分増えたようだ。そこで生活をしている人達にとつては便利で安全であろう…が、

あちこちの水路からあふれんばかりの勢いで流れる様や、音を味わえるのも、また都留ならではの風情である。

コンビニエンスストアや、ファーストフードの店で手軽に物が手に入るようになった。私は、農協会館の朝市のファンである。季節を感じ、本来の素材の味を楽しもう…と、事あるごとに、学生には宣伝をしている。

子供の玩具、ファミコン、学校の教材もまた、機能に、新しい素材にと次々に便利な

ものが出まわっている。大工道具もまた電動化され便利になっている。私も便利さによりかかいつつ、「便利なものを利用するのは、それを操作するのはうまくなるが、素材そのものに取り組んで工夫することからは、ますます遠のいてしまう…」と何かで読んだ事を思い出し、時として便利さに不安を抱くのである。人類は手が自由に動かせる(物を握る事ができる)事により、自然物を工夫し、道具を生みだし、道具が道具を発展させ、工夫する事により、脳が発達し、より人間らしくなつたといわれている。特に子供のときには、手を使い、物をつくることを大事にさせたいと思う。

人はオレンジ色や赤い色を暖かく感じ(暖色)、青い色や水色を冷たく感じる(寒色)。前者は、太陽の色、火の色で、後者は水の色、空の色を連想させるのである。幼少期においては黄色や黄緑色を多く好むそうだが、この色は植物が芽をふき、すくすくと育っている状態の色である。六月の水田の稲の色である。成熟した八月の緑ではない。やはり人間は自然の生きものなのだ。最近、特に自然の季節の移り変わり、味に興味を持つようになった。学生にもそういう話をするが、興味を示すものは少ない。若い頃は、ひたすら前を向いていて、自然現象には、それ程敏感ではないという事なのだろうか…。

## 富士女性センターからのお知らせ

### 親子映画教室

日時 7月28日(日)  
午後1時～3時  
会場 富士女性センター  
大研修室  
対象 小学生のいる親子(なるべく親子そろって参加してください。)

日時 第1回 8月8日(木)  
第2回 9月7日(土)  
第3回 10月6日(日)  
午前1時30分～3時30分  
内容 3回シリーズで少年期、青年期における子どもの発達と思春期の問題 大人たちのかかわりについて

### 子育てセミナー

内容 「新ちゃんがないた」  
肢体マヒの新ちゃんが普通学級にもどり、クラスの人とのかかわりを通して友情とは、母親とは何かを親子で考える。その他1本上映します。

場所 富士女性センター 大研修室  
対象者 中学生、高校生の父母 中学校、高等学校教師  
※その他、どなたでも参加できます。

参加費 無料  
定員 親子50組  
持ち物 筆記用具  
※定員になり次第締め切らせて頂きます。

参加料 無料  
◎申込方法 電話か、はがきで申し込んでください。  
中央三丁目九一三  
☎(45)1666

### 第23回山梨県心身障害者福祉展開催について

山梨県主催による心身障害者福祉展が本年も甲府市の西武デパートで八月二十二日から二十七日までの六日間開催されます。

市では、この出品作品を募集しています。優秀作品には賞が贈られますので、多数の方の出品をお待ちしています。

問合せ 市福祉事務所

### ほたるの里づくり

ほたるの観賞会を十日市場自治会で行います。

- ◎観賞期間 7月10日～20日
- ◎観賞会 7月20日(土)
- ◎場所 十日市場中野房治宅前

